

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
（総合）研究報告書

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発
研究代表者 麻原 きよみ 聖路加国際大学看護学研究科 教授

研究要旨：

本研究は、「地域特性に応じた保健活動推進ガイドライン」の実践的方法論の開発と保健活動の実践で活用できるツールの作成を目的としている。本研究期間は3年間であり、研究枠組みとして、Ⅰ.知識基盤の構築（用語の定義、地区活動調査）、Ⅱ.実践的方法論の開発と評価（地域診断と評価方法モデルの作成、保健活動ツールの作成、エコロジカルプランニングによる地域診断法をベースとした健康まちづくりワークショップ）、Ⅲ.ガイドライン推進のための普及方法の開発で構成し、Ⅰ～Ⅲについて研究を進めた。研究成果として「地域特性に応じた保健活動推進のためのガイドライン」を作成した。

A. 研究目的

保健活動の現場で活用可能かつ効果的な「地域特性に応じた保健活動推進のためのガイドライン」とその運用に活用できるツールを開発し、健康な地域づくりのための保健活動の推進に資することを目的とする。

B. 研究方法

Ⅰ. 知識基盤の構築に関する研究

2つの調査（デルファイ調査、地区活動に関する実態調査）を実施した。

Ⅱ. 実践的方法論の開発と評価

地域診断方法、保健活動の評価指標・方法を検討した。また、保健活動（地域/地区活動）推進のためのツール「地域/地区カルテ」の効果評価を行うため、介入研究を実施した。

Ⅲ. ガイドライン推進のための普及方法の開発

作成したツール活用と普及のための「教育研修プログラム」を検討した。

（倫理面への配慮）

研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号：17A-010、17A-094、17A-106）。

C. 研究結果

職種間で共通理解が得られていなかった地域保健活動に関する主要用語の定義を、保健師と他職種との合意により確定した。また、本研究の自治体に所属する保健師を代表するサンプリングで行った地区活動に関する調査によって、業務体制（地区担当制、業務分担制など）の実態が明らかになると共に、地域/地区活動の方法、地域/地区活動による保健師自身および地域/住民への認識、地域/地区活動を促進する環境および関連する要因が明らかとなった。このことで、自治体における保健師の業務体制のあり方、地域づくりを意識した地域/地区活動の方法や地域/地区活動を促進する環境整備のあり方が明確になった。また、介入調査によって効果を検証した保健活動ツール「地域/地区カルテ」については、調査に基づき活用方法を明確にした。エコロジカルプランニングによる地域診断法をベースにした「健康まちづくりワークショップ」は、保健師に活用可能である結果を得た。

D. 考察

3年間で得られた知見をまとめた「地域特性に応じた保健活動推進ガイドライン」が報告書と併

せて広く普及されることにより、「地域における保健師の保健活動に関する指針」(平成 25 年 4 月)で示された地域特性に応じた保健活動や地区活動の推進につながると考えられる。更に、「地域保健対策の推進に関する基本的な指針改正」(平成 24 年 7 月)で示された「健康なまちづくり」のための地域保健活動が推進されることが期待され、本研究で得られた知見は、効果的な保健活動推進の基盤として国民の健康および安寧に寄与すると考えられる。

本研究結果並びにガイドラインは、保健師の保健活動の目的および活動の本質を示すものであり、保健師の基礎教育および現任教育のための枠組みとして、また地域保健に関する研究の枠組みとして活用されることが期待できる。

E. 結論

本研究は、保健活動の現場で活用可能かつ効果的な「地域特性に応じた保健活動推進のためのガイドライン」とその運用に活用できるツールを開発し、健康な地域づくりのための保健活動の推進に資することを目的として、3 年間の研究期間において、Ⅰ. 知識基盤の構築に関する研究、Ⅱ. 実践的方法論の開発と評価、Ⅲ. ガイドライン推進のための普及方法の開発、という枠組みで研究を実施した。研究結果に基づき、「地域特性に応じた保健活動推進のためのガイドライン」を作成した。

本研究で得られた知見は、今後の保健活動、保健師教育、国民の健康に資することが期待される。

F. 健康危機情報

情報なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- ・鶴飼修, 陳秋林: 健康まちづくりのための地域診断ワークショップの要点、日本計画行政学会第 40 回全国大会 (2017. 9. 8)
- ・鶴飼修, 小島なぎさ: 地域診断法を用いた地域ビジョン創出手法の開発 ~都市近郊農山村を対象に~、日本環境共生学会 第 20 回学術大会 (2017. 9. 22)
- ・永井智子, 梅田麻希, 麻原きよみ, 三森寧子, 遠藤直子, 江川優子, 小林真朝, 佐伯和子, 大森純子, 嶋津多恵子, 川崎千恵, 永田智子, 佐川きよみ, 小西美香子: 地域保健活動における主要用語の定義—デルファイ法を用いた全国調査—、第 77 回日本公衆衛生学会総会 (2018. 10. 26)
- ・鶴飼 修, 小島なぎさ (2018) 地域診断法を活用した健康まちづくりワークショップの開発, 日本計画行政学会第 42 回全国大会研究報告要旨集, 日本計画行政学会, pp. 93-96
- ・嶋津多恵子, 梅田麻希, 米倉佑貴, 川崎千恵, 遠藤直子, 永井智子, 三森寧子, 江川優子, 小林真朝, 佐伯和子, 大森純子, 永田智子, 佐川きよみ, 小西美香子, 麻原きよみ: 全国自治体における地区担当制および業務担当制に関する業務体制のメリットの認識, 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会 (2019. 1. 27)
- ・永井智子, 梅田麻希, 米倉佑貴, 川崎千恵, 嶋津多恵子, 遠藤直子, 三森寧子, 江川優子, 小林真朝, 佐伯和子, 大森純子, 永田智子, 佐川きよみ, 小西美香子, 麻原きよみ: 保健師の地域づくり活動実施と道徳的能力、職業アイデンティとの関連: 全国自治体における横断調査, 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会 (2019. 1. 27)
- ・鶴飼修: 地域診断法ワークショップを活用した健康まちづくりワークショップの開発, 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会 (2019. 1. 26)

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし